

都市再生整備計画 事後評価シート  
暘谷駅周辺地区

平成23年2月  
大分県日出町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県		市町村名	日出町		地区名	暁谷駅周辺地区			面積	44.1ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	613百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(町道暁谷駅北口線、町道二の丸南浜線)、地域生活基盤施設(緑地)、高質空間形成施設(電線類地中化)、既存建造物活用事業(隅櫓地域交流センター)										
		提案事業	地域創造支援事業(信号機設置事業(暁谷駅北口駅前線))、まちづくり活動推進事業(地元NPOによるイベント企画策定)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駅前広場)	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし	-				-					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(町道二の丸南浜線(山の荘前)、町道日出小学校線、町道佐尾線)、既存建造物活用事業(隅櫓地域交流センター)、高次都市施設(日出町観光交流センター)	歴史的まちなみの回遊性を図るため 歴史的建造物の復元・活用や観光拠点の整備により観光交流をはかるため				指標「観光客数」の目標値を上方修正 市場「イベント数」をイベント参加数に変更					
提案事業		地域創造支援事業(ふれあい茶屋建設事業(町道日出小学校線))、事業活用調査(事業効果分析に関する調査)	観光交流、地域交流の形成を図るため				指標「観光客数」の目標値を上方修正 市場「イベント数」をイベント参加数に変更						
交付期間の変更	当初	平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	-		-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	観光客数	人/年	41,000	平成16年度	50,000	平成22年度	モニタリング	評価値		あり なし	観光交流センターの事業等により観光基盤が整備され、地元まちづくり団体によるイベント企画が策定されることで観光需要が創出され、観光客が増加した。	平成24年5月
	指標2	地区内人口	人	1,538	平成16年度	1,580	平成22年度		1,628		あり なし	道路整備とともに関連事業の公共下水道事業や水道整備事業で住環境が向上し、大分市や別府市のベッドタウンとして認知されてきたため、大幅な人口増となった。	平成24年4月
	指標3	イベント参加者数	人/年	386	平成17年度	600	平成22年度		619		あり なし	観光交流センターを活用し、地元まちづくり団体によるイベント企画を実行することでイベントへのボランティア参加者数が増加した。	平成24年5月
	指標4	駅前交流人口	人/日	1,540	平成15年度	1,700	平成22年度		1,646		あり なし	観光客数及び区域内人口は増加したが、社会経済の低迷や高速道路料金の休日上限1,000円などの要因により、車両での来訪が増加したと考えられる。しかし、大分県平均でJRの乗降客数が減少している中で、暁谷駅は増加傾向を示していることや、観光客数、地区内人口が増加していることから、事業効果は発揮されているものと考えられる。	平成24年5月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	再訪意向	%	-	-			モニタリング	97			道路事業による歴史的街並み空間の整備や観光交流センター等の整備により、賑わい空間の機能が強化され、魅力が向上した。	平成24年5月
4)定性的な効果発現状況	「観光大型バスの駐車可能台数が増えるとともに、観光案内所が一新したことで利便性が良くなった」「地域の人々も集まれる空間ができた」「歩道の整備や無電中化によって、歩きやすくなった」「無電中化や景観舗装によって、一層風情ある歴史的なまちなみとなった」等の声が町民や施設利用者からでてきている。												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-	
	住民参加プロセス	まちづくり団体に依頼しているイベント等について、月に1回程度の会議を開き、町及び地元住民を中心に、新聞社の方々も含みながら、計画から実施に向けて話し合いながら実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				より良い企画策定に向け、今後もイベント企画策定の会議を継続していく。また、イベントに限らず、「まちづくり」全般に関する話し合いの場を設ける。	
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり団体に依頼している各種イベントの良かった点、悪かった点等を取りまとめた報告書の確認及びヒアリングの実施より、来年度以降、持続的にやっていけるイベントを検討		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				報告書の確認やヒアリングを継続的に行うことで、イベントの内容の向上を図り、まちづくり団体活動の活性化を促す。		

## 様式2-2 地区の概要

暘谷駅周辺地区(大分県日出町) 都市再生整備計画事業の成果概要

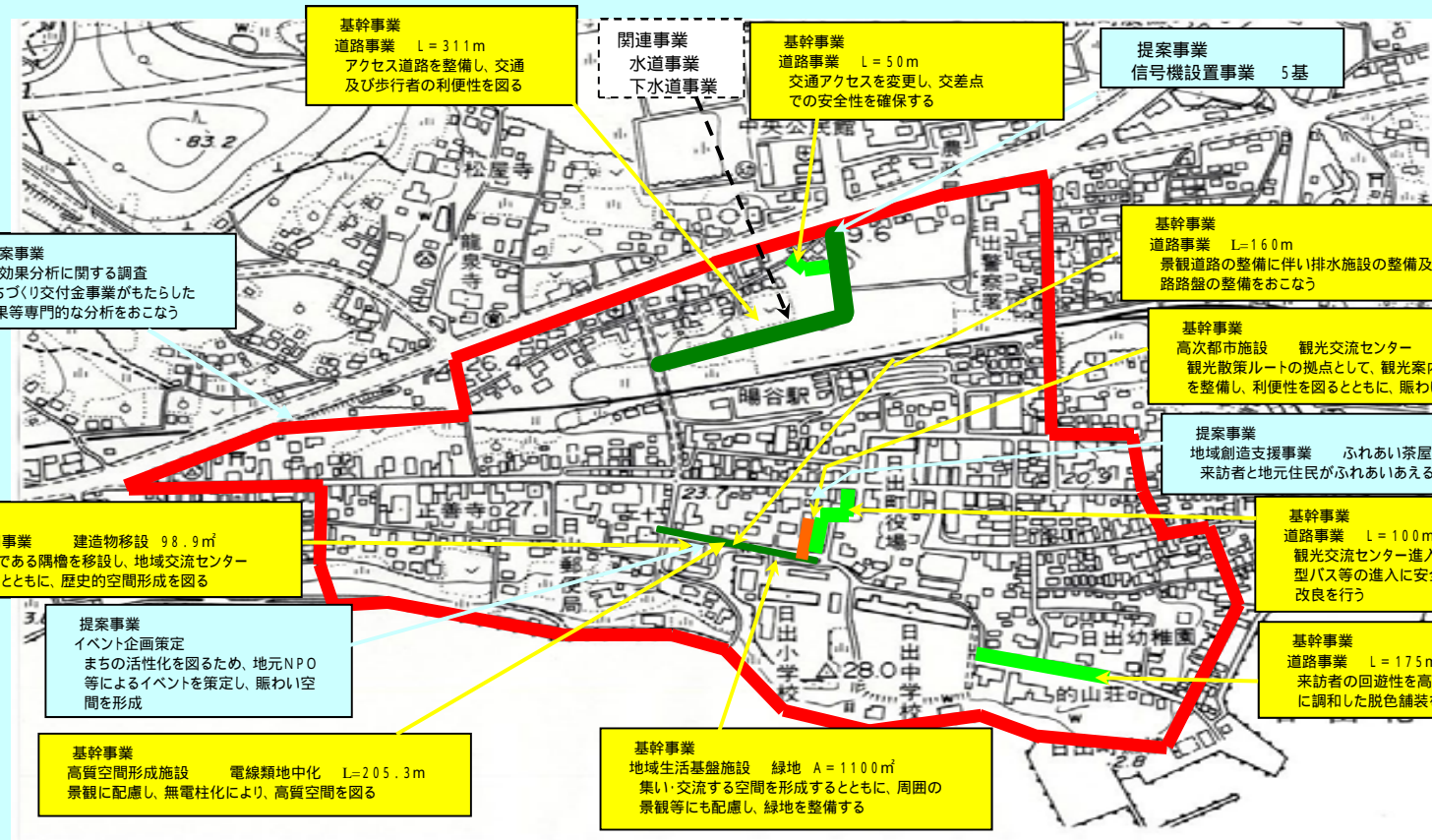
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 緑・水・海などの自然や歴史文化的文化遺産を活かし、これらが利便性の高い都市環境とともに相互に結びつく快適で個性ある都心づくり。 目標1: 中心市街地の核として鉄道駅を活用した交通結節点として位置づけ、集い交流する賑わいの空間を基本に、中枢的な都市機能を図るものとし、同時にまちの顔となるシンボル空間の形成を図る。 目標2: 自然や風土、歴史的街並みを保全、活用するとともに、地域個性あふれる美しい都市景観の形成を図る。	観光客数	単位:人/年	41,000	H16	50,000	H22	65,985	H21
	地区内人口	単位:人	1,538	H16	1,580	H22	1,628	H21
	イベント参加者数	単位:人/年	386	H17	600	H22	619	H21
	駅前交流人口	単位:人/日	1,540	H15	1,700	H22	1,646	H21
	再訪意向	単位:%	-	-	-	-	97	H22



基幹事業: 観光交流センター



基幹事業: 町道二の丸南浜線



基幹事業: 町道暘谷駅北口線



基幹事業: 町道二の丸南浜線(的山荘)

凡例	
<span style="border: 2px solid red; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	計画区
<span style="background-color: yellow; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	基幹事
<span style="background-color: lightblue; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	提案事
<span style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	関連事業

まちの課題の変化	都市再生整備計画に基づく様々な事業を実施することによって、人口減少が進む社会状況の中でも当区域内人口は増加し、歴史的な建造物やまちなみを活かすことで観光客が増加するなど、地域の活性化に大きな効果があった。今後は、増加した観光客に対する回遊性の向上や滞在の長時間化などが課題である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	暘谷駅の目の前という好ましい立地条件と共に、道路事業によってアクセス性が向上した日出暘谷高校跡地に町の核となるような交通結節機能の強化を図る 単に観光情報の提供だけではなく、観光交流センターで長時間滞在できる仕組みを作る 観光ルートを設けることで観光地の見落としを防止、観光地について案内を行うことで理解を深めてもらう 観光客や地元の人々をさらに既存商店街に集めるためのPRを強化する 区域内の人々とともに長期的な視点に立ったまちづくりの方向性を考える